

放射冷却素材「Radi-Cool」を新日本海フェリー新造船「けやき」に導入 ～ 船の旅もエコで快適に ～



日本空港ビルディング株式会社（本社：東京都大田区、代表取締役社長：田中一仁）は、新日本海フェリー株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：入谷泰生）と共同して、室内温度の低下と環境負荷の低減を目的に放射冷却素材「Radi-Cool（ラディクール）」を、2025年12月に舞鶴－小樽航路に就航予定の新造船「けやき」に導入いたします。

2024年冬期に新日本海フェリー既存船4隻（「はまゆう」、「それいゆ」、「らべんだあ」、「あざれあ」）のスポーツルーム、BBQルーム、操舵室に放射冷却素材「Radi-Cool」の塗料と透明フィルムを導入し、直射日光を浴びる船舶での温度検証（遮熱効果・放射冷却効果）を開始しました。その結果、施工前後での温度低減が見られたことから、この度新造船に導入する運びとなりました。

近年、造船業界においては、新造船需要が低迷する中、中国や韓国を中心に造船所の大型再編が進み、競争環境は厳しさを増しております。一方で、今後は船舶建造時に発生するVOC（揮発性有機化合物）等の有害物質や、航行時に排出される温室効果ガス（GHG）の削減といった環境面での対応が従来以上に重要な要素となり、各造船所の競争力を大きく左右するようになるものと考えられます。今後もお客さま、従業員の快適性の向上と環境負荷の低減に向けて、研究を進めてまいります。

※「Radi-Cool」は太陽光を反射し、自然現象の放射冷却を用いて室内の熱も放射することで、エネルギーを使わず室温を下げられる地球環境にやさしい製品です。

◆「Radi-Cool」の販売について：

[Radi-Cool 販売事業 | 日本空港ビルディング株式会社](#)

本件に関するお問い合わせ：

日本空港ビルディング株式会社 営業推進室 TEL：03-5757-8081 9:00-17:30（土日祝除く）